学校番号	T3015

令和８年度　工業科

教科	工業科	科目	自動車整備	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「工業科 737 自動車整備」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自動車を構成する各要素の整備方法や、各種の性能試験および、安全作業や関係法令について学ぶ。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
自動車のエンジン、シャシの各装置の発展的な整備ができることを念頭に、自動車の構造・機能に関する実践的な知識・技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
実事例課題に対して工学的な判断や思考により、課題の解決方法を模索し、提案する事ができる。
【学びに向かう力、人間性等】
課題を解決にあたって意欲的に探究を行い、対策を行う能力と姿勢を身に付ける。最終的に 3 級自動車整備士試験に合格できる力をつけることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する技能を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。	自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識や技術に課題等を見つけ、自ら思考・判断し、創意工夫して問題解決する能力を身につける。	自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識や技術に関心を持ち、意欲的に探究するとともに、学ぶ態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	エンジン	エンジンの整備	a: 各種計測器を用いて計測ができるか。整備士の試験問題で活用できるか b: エンジンの整備について関心をもち、自身の五感の内、見る・聞く・嗅ぐ・触ると用いて、適切に事象を見極め判断できる能力があるか。また、それらを他者に正確に表現できるか。 c: 知識をもつことに、意欲的になり様々な事象にそれらを当てはめ整備に活用する姿勢が見られるか。	課題プリント 整備士試験問題過去問考査	考査及び学習状況の観察	・提出物 ・学習状況の観察 ・自己評価
後期	シャシ	シャシの整備	a: 各種計測器を用いて計測ができるか。整備士の試験問題で活用できるか b: シャシの整備について関心をもち、自身の五感の内、見る・聞く・嗅ぐ・触ると用いて、適切に事象を見極め判断できる能力があるか。また、それらを他者に正確に表現できるか。 c: 知識をもつことに、意欲的になり様々な事象にそれらを当てはめ整備に活用する姿勢が見られるか。	課題プリント 整備士試験問題過去問考査	考査及び学習状況の観察	・提出物 ・学習状況の観察 ・自己評価

	電装	電装の整備	a: 各種計測器を用いて計測ができるか。整備士の試験問題で活用できるか b: 電装の整備について関心をもち、計測結果から適切に事象を見極め判断できる能力があるか。また、それらを他者に正確に表現できるか。 c: 知識をもつことに、意欲的になり様々な事象にそれらを当てはめ整備に活用する姿勢が見られるか。	課題プリント 整備士試験問題過去問考査	考査及び学習状況の観察	・提出物 ・学習状況の観察 ・自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度